

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年12月19日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

17、そらにひびくかねが（こどもさんびかをお用ください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ マタイによる福音書2章1節～12節抜粋

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。私たちは東方でその方の星を見たので拝みに来たのです。」

おはなしとおいのり

「星の博士たち」

熊田雄二牧師

むかし、イエスさまがお生まれになった時よりずっとむかし、バビロニアという大きな国に、星の博士たちがいました。博士たちは王様の命令で、太陽や月や星を観測しながらカレンダーを作っていました。一ヶ月30日くらいはどうやって決めるのか、一年12ヶ月はどうやって決めるのか、考えてみると簡単じゃなさそうですね。

それでも博士たちは「星はきれいだなあ」と、星を観るのを楽しんでいました。でも博士たちには悩みがありました。王様は自分の国のことを一番に考えているので、他の国と戦争が起きてしまうのです。「自分の国が一番、よその国は二番」ですから、世界を平和にできません。今も同じですね。

王様は次々と死んでいきましたが、星は相変わらず同じ位置で光っています。博士たちもやがて死んで、後輩に観察記録を引き継がせることになります。その頃は、星の光が地球に届くの何万年、何億光年とかかることまでは分かっていなかったかもしれません。博士たちの時代まで、星の観察記録は2000年くらいありました。一人の人が何百年も何千年も観察してきたわけではないので、代々引き継がれてきたのです。そして、はるか昔も、はるか未来も、星は、ほぼ同じ位置で同じように輝いていることが分かっていました。

それを思うと、人間とは何者なんだろう？ 大きな国の王様と云って何者なんだろう？ たった数十年で終わる人生じゃないか。大きな国と云って数百年で終わるじゃないか。永遠にあり続けるものって、何だろう？ この世界が滅びても、星たちは、相変わらず同じように輝いているにちがいない。星を見ると、博士たちは永遠を思いました。

ある晩、博士たちは、大きな星を発見しました。「王様の星だ！ 素晴らしい王様の星だ！ それに

バビロニアより大きいぞ！ でもユダヤ人の王様のような？ ユダヤはバビロニアより小さいのに？ それでもバビロニアより大きいなら宇宙の王様みたいな星だ！ みんなの王様だ！ 世界を平和にする王様に違いない。ユダヤまでだいがあるけど、会いに行こう。」

そして、ユダヤの都エルサレムに到着して言いました。「ユダヤ人の王様としてお生まれになった方はどこにおられますか。」 その時、ユダヤ人の王様は、ヘロデ王という恐ろしい王様でした。（東の国からはるばる拝みに来るような王様とは、キリストのことだな）。ヘロデ王は、聖書の博士たちに聞きました。「キリストが生まれる場所はどこだ。」「ベツレヘムです。」

ヘロデ王は、星の博士たちに聞きました。「その星を見たのはいつごろかね。」「2年前です。」（2才以下だな）「わしも拝みにいくから、知らせてくれ。」 ヘロデ王は恐ろしいことを考えていました。そのことは知らずに、博士たちは、喜んでベツレヘムへ シュツパーツ。すると「あの星」が博士たちを導いてくれます。ぶじ、ベツレヘムに到着しました。

博士たちは赤ちゃんのイエス様を拝んで献げものをしました。「イエス様、あなたはユダヤ人だけの王様ではなくて、世界の王様です。あなたは宇宙の王様です。」イエスさまは、赤ちゃんの時はヘロデ王に殺されませんでしたけれど、33才になって人々から十字架に架けられて殺されました。でもそれは、自分が第一、他人は第二と、自分のことしか考えない人間の罪のために死なれたのです。ヘロデ王のようなドロドロした人間の心を洗うために死なれたのです。

そしてイエスさまは、三日目に復活されました。人間に新しい命を与えるためです。死んでも生きる永遠の命を与えるために、イエス様は復活されました。博士たちは、イエス様の十字架と復活のことはまだ知りませんでした。永遠の喜びが与えられました。永遠の命の王様を心にいただいたからです。クリスマスは、神様がイエスさまをプレゼントしてくださった日です。プレゼントしてくださる日です。博士たちのように、イエスさまを礼拝して、永遠の命をいただいて喜びましょう。

祈り

神様、「自分が死んでも、何事もなかったかのように地球は回っている」と思うと、なんだかさびしくなります。でもきょうは、星の博士たちのことを知ることができて感謝します。永遠を思いながら、赤ちゃんのキリストを礼拝したことは、永遠の神様の前で素晴らしいことでした。

私たちも、この赤ちゃんを神の御子と信じて、天地創造の神様を思いながら礼拝しています。クリスマスは、イエスさまによって新しい命をいただくことを喜ぶ日ですから、このクリスマスプレゼントを神様から確かにいただくことができますように。

イエスさまによって、お祈りします。アーメン

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん） 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

18、うれしいうれしい（こどもさんびかをお用ください）